

平成二十三年度入試報告
東大・京大・東工・一橋48名

東大29名で続伸
医学科20名合格

筑波大は44名で全国1位

進路指導部長 **白井 健司**

平成23年度入試は、前年度よりセンター試験の平均点が上昇、難関国立大学の志願者が増加した。難関国立大出願にあたっていわゆる足切りのラインに注意が必要であった。

センター試験志願者数は昨年比5600人増の約55万9千人、高校卒業者に占める現役生のセンター試験志願者数は昨年の41・1%弱から41・4%強へと約0・4%上昇した。前年度は18才人口が増加したが今年度は減少したにもかかわらず、国公立大志願者数は、約50万4千人で前年から1万人を超えたのは2006年以来である。不況などにより大学志願率、国公立大志向ともに高まっていることが志願者数の増加につながっているとされている。特に後期日程は増加率が大きく、粘り強く受験しようとする姿勢が強まっている。大学入試センター発表によると、英語112・80(＋4・64)、数I・A 69・95(＋16・99)、物理I 64・08(＋10・07)と、平均点が上昇した。

本校生の平均点も、文系が67・4点(昨年比＋15・6点)、理

系が690・0点(昨年比＋45・6点)と特に理系は上昇が著しかった。

今春の入試結果について、主なものを挙げると以下のようである。

- 1 東京大学29名(新卒17名)
- 2 京都大学3名(新卒2名)
- 3 東工大学9名(新卒3名)
- 4 一橋大学10名(新卒3名)
- 5 東北大学19名(新卒10名)
- 6 筑波大学44名(新卒30名)
- 7 国立大医学科20名(新卒11名)

東大は昨年度昭和63年度入試以来続いていた20名台を回帰し24名であったが、今年度は更に29名に増加した。地元筑波大は、新卒生が後期合格30名と奮闘し、合計で44名の合格者となり、昨年に続き全国1位になった。

国公立医学科は、東北大、筑波大、東京医科歯科大など新卒で11名、合計20名の合格者を出しました。

今年の新卒生進学率(すべて四年制大学)は約53%であった。この10年間の進学率の推移を見ると、ほぼ50%台で推移しているの

で、例年通りの進学率である。志高く初志貫徹するために、もう一年かけて進学する生徒たちが多いのが本校の特徴である。

本校を取り巻く環境は年々厳しくなっている。しかし、職員は優秀な生徒を預けられているという自覚と喜びを持って、骨太の生徒の育成に尽力している。今後ともご支援をよろしくお願いしたい。

平成23年度入試合格状況

国公立大学

私立大学

*新卒は内数です

大 学	合格者	新 卒
北海道大	7	2
北海道教育大	1	
弘前大	1	
東北大	19	10
秋田大	2	
山形大	4	3
茨城大	12	10
筑波大	44	30
埼玉大	2	1
千葉大	10	5
お茶の水女子大	5	3
電気通信大	3	2
東京大	29	17
東京医科歯科	3	2
東京外語大	4	1
東京学芸大	2	2
東京工業大	9	3
東京農工大	8	3
一橋大	10	3
横浜国立大	2	
新潟大	2	
富山大	1	
金沢大	1	

大 学	合格者	新 卒
山梨大	1	1
信州大	1	1
浜松医科大	1	1
名古屋大	4	1
京 都 大	3	2
大 阪 大	3	2
広 島 大	1	
九 州 大	1	1
琉 球 大	1	1
国際教養大	1	
茨城県立医療大	3	3
首都大東京	1	1
静岡県立薬大	1	1
兵庫県立大	1	
国公立大計	204	111
(うち医学科)	20	11
防衛大学校	2	2
防衛医科	1	
気象大学校	1	1
大学校計	4	3

大 学	合格者	新 卒
青山学院大	22	9
学習院大	14	6
慶 応 大	56	29
国際基督大	5	2
上 智 大	22	11
中 央 大	42	17
津田塾大	5	2
東京女子大	4	2
日本女子大	9	9
東京理科大	87	36
明 治 大	95	49
立 教 大	43	14
早 稲 田 大	101	42
法 政 大	40	24
北 里 大	6	3
芝 浦 工 大	15	2
日 本 大	13	10
同 志 社 大	3	
立 命 館 大	8	1
そ の 他	147	59
私立大計	737	325
合格者総数	945	439